

- ・巻頭コラム (杉浦良)
- ・お知らせ (ボランティア交流プロジェクト、体験実習、会議、講演)
- ・体験実習に参加して
- ・ボランティア投稿(萩原康弘)
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2006年11月 116号

—夏のCO₂削減に取り組んでいる、先端のエコショップです・・・— 杉浦 良

今年4月24日に新館がオープンして、早、半年が経ちました。火災で全焼した旧館に代わって、皆様のご支援を頂いて復活が出来た新館ですが、初めは、同じ広さの店舗兼作業所兼事務所の早期復活こそが、一番の願いでした。何の前ぶれもなく、突然起こった、寝耳に水の出来事に、うろたえる暇もなく次々出される課題をこなす毎日でした。何でもいいから、とにかく再建という気持ちから、再建できるものなら、なるべく防犯防火対策を採りつつ、環境に配

慮した、エコ建造物として、新しい建物を復活したいという願いが膨らみました。早期再建が最優先されますが、再建する建物は、防犯、防火対策に優れ、使い易く、バリアフリーで、快適で、周りの景観に配慮すると同時に、環境にも負担が少なく、維持コストも少ない、エコハウスとして蘇らせたい・・・。山ほどの願いは、建設コストとのせめぎあいになります。外壁材ひとつ、床材ひとつ、当然といえば当然ですが、良いものは高いのです。どのあたりで妥協し、



研修旅行の宿泊先について、メンバー、スタッフ、ボランティアで話し合う。10月27日

バランスを取るか？このことに時間とエネルギーを充分費やして、取り掛かるのが常識ですが、被災、避難所活動を余儀なくされた私達には、それがなかなかできません。建物再建の中心を担って下さった木内工務店代表木内昭さんと、その都度打ち合わせをしながら、ああでもない、こうでもない、と、建物再建は進みました。当初の計画通りにうまく行かず変更したり、建築課からの指導で手直したりの連続でした。1階入り口軒下から出火した教訓から、以前のガラス戸1枚でなく、玄関口を作り、ガラス戸を2重にし、入り口には電動シャッターを付けました。1階の全ての窓と非常口には手動シャッターを付け、防犯カメラを4ヶ所（室内にも4ヶ所で計8ヶ所、24時間ハードディスクレコーダーで録画）設置、センサーライトは以前と同じく2ヶ所取り付け、外から建物を照らす外部照明灯を、新たに設置しました。「防火防犯対策に一番お金がかかりましたな・・・」とは木内さんの言葉です。外壁は16ミリの防火3級、グリーン購入法適応パネルにしました。厚くなるごとに、防火等級が上がるごとに、値段が高くなります。分厚い外壁パネル見本とニラメッコしましたが、グリーン購入法適応パネルの種類が本当に少なく、選べる幅は少ないのが現実でした。コスト削減と当会の理念を考え、トイレ内壁、西側壁には、模様や色の違う在庫処分品外壁材を使ったり、以前、建材屋さんから在庫処分として頂戴した扉、床材などの使用、ユニットシャワー設備、流し台、ガス台などは、木内さんがもったいない精神で集めてくださったものを再使用しました。以前の2階の床はコンパネ1枚（途中で補強のためもう1枚重ね張りしましたが）だっ

たので、火災で床が抜け落ちました。それ防ぐために、2階はコンクリートの床にしよう！が木内さんの最初の言葉でした。建築構造上、以前のように軽量鉄骨では問題があり、重量鉄骨構造が必要になりました。火災の1年ほど前から中国の鉄需要が高まり、鉄骨価格が急騰しました。「どうせ焼ける運命なら、1年早ければ安く出来たのに・・・」と、鉄工所の社長さんがこぼされました。防犯防火対策の次は、エアコンなしで夏場をなるべく快適に過ごすための工夫です。前と同じ70坪2階建ての建物を冷房するためには、最低10馬力のエアコンと、フルタイム使用すれば1ヶ月30万円の電気代がかかります。一般企業のように夏場商戦を、品物を仕入れることで成り立つシステムではないし、公的資金でまかなう余裕もありません。以前の建物は、2階の天井を夜なべ仕事で張ったり、鉄板屋根に遮熱塗料（太陽熱を吸収しにくい塗料）を塗ったり、窓ガラスに遮熱フィルムを張ったりしましたが、扇風機だけでは、最近の酷暑を乗り切れる



回収品の品物を並べる

ものではありません。「ここはタダのサウナに入れて、有難いもんヨ・・・。2階を一回りすると、滝のような汗が出て、やせられる・・・。」などと冗談を飛ばして下さる有難い常連さんも、ここ2、3年は「熱中症で倒れる！・・・。」と2階に上がることをためらう方が続出しました。メンバーやスタッフですら夏の午後に2階に上がろうとしないわけですから、当然といえば当然です。それをどう解決するか？まずは屋根を瓦にし、屋根のてっぺんの棟に3ヶ所（最近もう2ヶ所増設し計5ヶ所）風は通るが、雨は通さない換気システムを取り付けることにしました。屋根のてっぺん裏に180センチの合板を打ちつけ、長さ25メートルの三角ダクトを作り、そこに5台の自動開閉式換気扇を取り付け、夏場は強制的に棟から熱い空気を排出させます。冬は換気扇を止めると、室内の暖かい空気が外に排出されません。また屋根裏には厚さ3センチ、幅15センチ程の、東祖谷の大田さんから頂戴した間伐杉から製材した杉板（原木にして11トントレーラー1車分）を張りました。杉板が屋根から伝わった熱を遮断し、冬は室内を保温するわけです。そしてその杉板の

下には不燃天井材として白い波板トタンを張りました。瓦の下に防水シートを二枚（ゴム質のものと紙質のもの）張り、その下にのじ板が張られ、その下に3センチの杉板が張られ、そして波板トタンとなるわけです。（間にそれぞれ角材が入りますが）屋根から熱せられた空気が板と波板トタンの間を通過して、自然換気口から外に排出されます。東西の高い位置にジャルジ（ブラインドタイプの開閉窓）と換気扇を付け、鮎喰川からの風を呼び込みます。そんな工夫をし、4台の扇風機を回すことで「夏場の暑さ枯れ」と呼ばれた現象が回避されました。以前の建物を体験されている方は「涼しくなったネー」と喜んで下さいます。初めての方は「クーラーのないお店なんて、聞いたことがないワ！」と言われますが、うちを渡し「夏のCO₂削減に取り組んでいる、先端のエコショップです・・・。」と説明すると、多くの方はそれなりに納得されます。もっとお金をかけると最先端のエコ建造物ができるのですが、費用対効果を考えれば、充分優れた太陽と緑の会の新館だと、ひとり勝手に思っております。その証拠に、3割は売り上げが落ちる例年の7月8月9月の夏枯れ現象が、今年に限ってありません。本当に有難いことです。



36枚パネルソーラーシステム



ジャルジと換気扇

お知らせ

ボランティア交流プロジェクト

9月12日～16日 萩原君が東京で開催の青年長期ボランティア中間研修に参加、10ヶ月に渡るフルタイムボランティア活動の前半を振り返りました。研修終了後、青年長期ボランティア交流プロジェクトを行いました。

当会で4月から活動している萩原君と、わらじの会で活動中の金子ゆかりさん(21才)が、それぞれ活動先を交換し、萩原君はわらじの会で9月16日から23日まで活動、金子さんは9月19日から24日まで当会で活動しました。活動先、ボランティア双方にとって、刺激を受け、視野を広げるよい機会になったのではないかと思います。

体験・実習・取材

8月4日、8日、18日 藍住東小学校の影山先生と徳島中学校の島崎先生が初年度教師研修を、当会にて実施。当会で働く様々なハンディを持ったメンバーとともに、3日間活動に参加しました。

2人とも積極的に取り組んで下さり、メンバーにとっても大きな刺激になりました。同研修は今年度より始められたプログラムとのことですが、ぜひ来年度以降も継続して頂ければ、と思います。

9月1日 四国学院大学3年生の松浦さんが午前9時から午後2時まで当会にて体験実習。将来は精神障害の方と関わる仕事をしたいそうで、机上では学ぶことのできない、地域共同作業所の現場を感じて頂けたのではないかと思います。

9月18日～29日 小谷さん体験実習
10月10日～ 法定入所施設おおぎ学園(徳島市)より箕さんが実習生として、太陽と緑の会月の宮作業所に通所開始

9月19日 精神障害者生活訓練施設ウィスパ―より当事者の方1名、職員1名が太陽と緑の会リサイクル作業所を見学。

10月3日 当事者の方2名 太陽と緑の会リサイクル作業所見学

9月19日 徳島新聞暮らし井戸端会議杉浦出席(9月25日～27日付朝刊掲載)

10月4日 徳島新聞取材 杉浦(10月15日付朝刊掲載「徳島新聞に望む」)

会議・イベント

9月16日 創ろう協働!生み出せ活力!!～パートナーシップとネットワーク 労働団体・NPO・企業・行政の連携による地域づくり～が徳島市で開催(主催財団法人さわやか福祉財団 社団法人徳島県労働者福祉協議会 日本労働組合総連合会徳島県連合会)。県内のNPO、ボランティア団体、26団体がブース出展を行い、協働事例報告及び交流会を実施。

太陽と緑の会からメンバーの米田君、スタッフの桑内が参加。パネル展示など太陽と緑の会の活動紹介を行いました。

8月29日 とくしま環境県民会議「クリーン・リサイクル推進部会」循環型施設等先進地研修(神戸市資源リサイクルセンター他) 杉浦参加

9月23日 午後1時～5時 やまもも作業所にて第2回徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会研修会開催 杉浦出席

10月20日 第2回リデュース・リユース推進販売システム検討委員会(徳島県ゴミゼロ推進室) 杉浦が委員として出席



青年長期ボランティア金子さんを囲んで

10月21日～22日 手をつなぐ育成会四国大会が徳島市内で開催。代表杉浦、アルバイト小野、メンバー米田さん、田村英介さん参加。米田さんの4月からの累計詩集販売数が1000冊を突破。

講演など

9月11日 ごみゼロによる循環型社会を考える「ゼロエミッションフォーラム・イン・徳島」が徳島市内で開催。

当会代表の杉浦もパネリストとして参加。当会の22年間、約2万トンの不用品・資源ゴミのリユース・リサイクル事業を踏まえ、ゴミゼロに向けた取り組み等について発言させて頂きました。

8月30日、10月27日の2回に渡り、徳島市市民活力開発センターにて、障害者自立支援法をテーマにNPOカフェが開催。NPO、行政、障害者地域共同作業所関係者他、のべ40名が出席しました。

当会からは代表杉浦、スタッフの小山、木村の3名が出席、杉浦、小山が講師として、障害者制度福祉について、戦後から現在に至るまでの経緯などの基礎的な話を踏まえた上で、自立支援法について、概要、評価できる点及び問題点についてお話させて頂きました。

問題点が山積みの障害者自立支援法ですが、障害者福祉について知って頂く機会になれば、と思います。

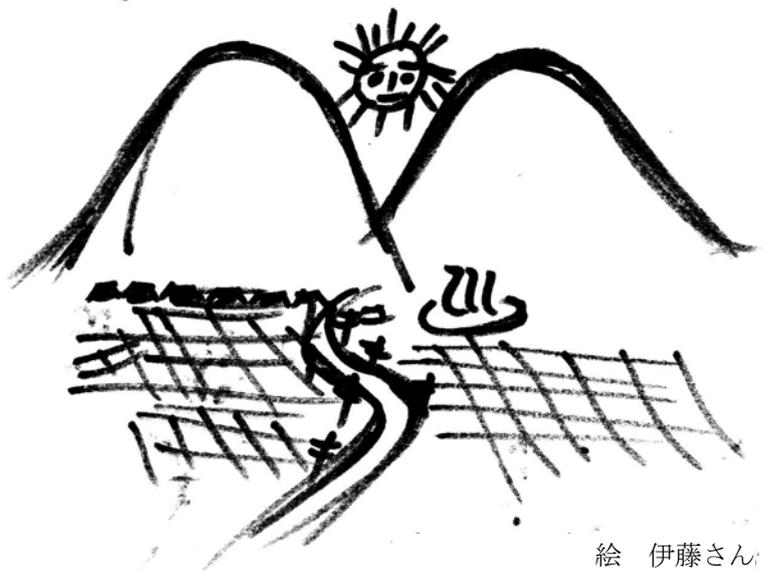
私は、オープンしている衣類店をしています。いぜん衣類の作業をしたことがあり、今はいろんなブランドものをしてる衣類のスタッフにおいついていくことがあり、私をおぼえることもあります。いぜん衣類のたんどうのスタッフと…… でも今は、いろいろおもしろいです

文 大和さん



絵 大和さん

ジャングル風呂の日の出 (奥道後温泉)



絵 伊藤さん

体験実習に参加して

★★先日当会にて体験実習に参加された国府中学校3年生の皆さんから感想が寄せられましたので、ここに紹介させていただきますと思います★★

初めての職場体験だったので不安でしたが、優しくておもしろい人達ばかりだったので安心しました。作業所内の仕事や外の仕事はとても楽しかったです。

一日目は、回収、選別など、外でやる仕事が多くて大変でした。でも、二日目は、値段つけなど、中でやる仕事が多く、いろいろとできてよかったです。大変でしたが、結こう楽しくて二日間が充実しました。また、障害を持っている方への誤解も解けました。

失敗をしたり、分からないことがあって困っていた時にはスタッフの方が優しく声をかけてくださり、本当に嬉しかったです。二日間、重い物を運んだり、歩き回ったり、大変だったけど今、二日間の事を思い出せば、全ての作業が楽しかったなと思います。

スタッフの方と、いろいろな話をしたり、作業をしたり、すごくいい経験になりました。最高の職場体験になりました。

普段する事がない仕事もたくさんすることができ、とても楽しかったです。重い荷物を持ちたりして大変だったこともあるけど、楽しみの方が圧倒的に多かったです。初め上手く職場にとけこめるか不安だったけど、みなさんととても明るくて、にぎやかで、優しく、すぐに仲良くなれました。私が一日目に少し失敗をしてしまったけど、一緒に居たスタッフの人が助けてくれてとてもうれしかったです。本当にこの職場が大好きなので、

また友達と遊びに行きます。

普段やったことのないことなど、たくさん体験できてすごい良かったです。私は、新館の方でお仕事をさせていただきました。木村さんには大変お世話になりました。「すごく大変だなあ」と思うこともたくさんありましたが、いい体験ができたし、それに皆さんとも、すごく仲良くなれて、二日間というすごい短い間でしたが、ほんとうに楽しかったです。

職場体験の前日は、大変だろうなあって思っていたけど、作業が始まってからは、そんなことを忘れて楽しんでいました。一日目の選別で雑誌の表紙を取りながら、メンバーの人たちとたくさん話をして、友情が深まったと思います。二日目は朝からいろんな人の自宅へ周り、不用品を回収しました。その中でマンションの七階で住んでいる人がおり、その人の不用品を取りに行くのに、エレベーターを何回も往復しました。いつもこんなに大変なことをしているんだなあと思いました。普段経験出来ない事が出来たので、勉強になりました。



国府中学校（徳島市）3年生体験実習

投稿コーナー

私は青年長期ボランティアとして、『太陽と緑の会』に参加させてもらっている、埼玉県出身の萩原康弘といます。

参加してから、早くも半年が過ぎました。まだまだ至らないことが多いです。新しい建物になってから、参加したので、前の建物のことは、まったく知らないのので、話を聞くとすごいと思いました。(夏の2階がとても暑く、長い間居られなかったとか火事で焼けて、大変な思いをしたなど・・・etc)

今私は月の宮生活棟で、生活しています。

生活棟の生活は環境を大切にした生活なので、食器洗剤やトイレ・風呂の洗剤・シャンプー・リンスの種類の制限などがありますが、環境はとても良いです。

生活棟ではみんなで、料理を作ったり、掃除をしたりして、(掃除は毎週水曜ですが) みんなで生活しています。

楽しく生活させてもらえるのは一緒に生活している人達のおかげです。

私が来た最初の頃は、中間処理のゴミや陶器・ガラスの処分の積み込みダンボールの積み込みが多く、作業のやり方も、闇雲に積み込みをしていたことを思い出します。

その時にはゴミが多いなと思っていましたが、今はお客さんからの持ち込みや、回収などを通して、リユース・リサイクルにつなげ、全体的にゴミを減らしていると感じられるようになりました。

そして、火事で焼けた後も、今、私がここで活動できているのも、スタッフ・メンバーの皆さんのおかげであるのと、『太陽と緑の会』を支援してくれた、一

般市民のおかげであることを知りました。

ここで、活動されている人達はとても良い人達ばかりで、とても楽しく活動させていただいています。そして、辛いときにはスタッフ・メンバーの人達に支えられているなど感じることも有ります。

新しい建物(新館)が出来てからの参加なので、昔と、どう違うのかは分かりませんし、今も店内の並べ方や、ディスプレイのやり方も試行錯誤しながらですので、少しずつ変化しているので、みんなといろいろな意見を言いながら、決めているので、毎日変化しています。

これからの目標は色々なメンバーの話を聞いたり、お客様からの意見を取り入れたりして、『太陽と緑の会』に参加したことが私の成長につながるようにして、残りの活動をしっかりと取り組みたいと思っています。(萩原康弘)



青年長期ボランティア萩原康弘くん 22才

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2006年7月1日～9月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

徳島北ロータリークラブ ¥218,974、小西 ¥1,000、秋田 ¥3,000、木内 ¥5,000、森本 ¥10,000、柿本治療院 ¥1,000、大草 ¥1,000、藤見 ¥1,000、川田浩司 ¥20,000、鈴木陽子 ¥5,000、喜田芳文法律事務所 ¥10,000、成瀬 ¥5,000、新居陽子 ¥10,000、前川 ¥1,000、匿名 ¥30,000、岩間 ¥1,000、林孝典 ¥2,000、匿名(手をつなぐ育成会四国大会) ¥250、都築恭子 ¥10,000、足立理八郎 ¥10,000、丸山宗志 ¥10,000

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○久次米、関野、平松、村上、中村、山本、高橋、橋本、竹川、八巻、西、藤本、中津、渡辺、滝花、小倉、林、西條産婦人科、鎌田、岩本、滝口、竹中薬局、金野、田村、池本、大北、山西、井堀、片岡、秋田、松浦、坂川、矢野、浅田、三好、山口、久米、千草、井上、大屋、小林、三島、川田、富永、森本、ケアハウス富田、新開、小西、昭和薬局、米田、河野、岡本、松原、宇津木、松田、中山、森、服部、岡田、広瀬、谷口、住友病院、徳島ライオンズクラブ、松崎、永正、一番町電化、中野、遠藤、木川、塩田、工藤内科、中原、大阪、杉田、後藤、割石、福島クリーニング、宮武、西山、西田、泉、田蒔、杉山、小川、中川、奥田、カットサロン岸本、大倉、吉田、中央興信所、松本、いのこ、長谷、篠原、勝瀬、瀬戸、吉成、木村、多田、播磨、トイタニ、稲原、道上、鈴江、成瀬、小畑、藪原、野田、橋本、米延、岸、坂本、吉川、竹房、梅本、遊学、久米川、上徳、前田、堂野、板東、佐藤、生光学園寮、阿部、筒井、武田、早渕、木内、市原、藤井、美馬、平田、森西、富岡医院、トラスト、池光、尾形、白井、小西、永松、吉岡、渋谷、細川、鹿山、作田、伊澤、鈴江、吉田、真鍋、松田、メンズショップジロー竹田、白川商事、松島、宇田、モーラ、三成会、岡本、三木、初崎、三笠、谷脇、井端、島村、飯田、内田、三浦、滝花、成瀬、鶴島、仁井、近藤、吉田、斉藤、バルネケ、増田、黒田、高丸、藤見、高松、竹原、原郷、苛原、立石、黒地、小倉、東倉、渡辺、井上、原田、小島、大木、大田、渡部、徳倉、篠崎、樋田、大阪歯科、板東、川原、西川、柳、助任小学校、斉藤、石本、松原、木村、石川、浜田、鶴田、小林、米沢、大東空調、佐々木エンジニアリングリサイクルセンター、柴田、大杉、渡辺、吉田法律事務所、若槻、徳嶋国際交流協会、柳、山村、後藤、平井、嶋村、高橋、米延、細川、木村呉服店、松田、米沢、徳島自立、出村、徳島港・小松島港整備事務所、天野、原田、吉岡工芸、藤原、小川、岡部、阿部、雲財、益田、滝沢、一番町電化、沖津、山川、前田、山崎○北島町○和田、田中、セシール美容院、角村、佐々木○鳴門市○井戸、大浦、寺田、岩瀬、原田、久龍、林、大寺、山本、仲須、中津○石井町○芝、丁山、久米、香川、長篠、茶園、小川、白木、藤原、川端、武市○小松島市○ケアハウスローズガーデン、松浦、セカンドストーリー○藍住町○播磨、小泉、桑村、澤、萬藤、石井

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○浅香、高橋、竹内、松本、長谷部、十川、中山、朝川、村谷、志摩、元渕、森、河村、小川、川真田、森本、藤本、森川、宮本、倉橋、為実、照本、楠本、伊勢、原、Norman. White、長瀬、大下、三枝、中野、福澤、松野、鹿児島、藤谷、三木、岡山、旭、大北、石川、中平、井内、藤原、井上、内田、宇野、片岡、井口、矢部、長楽、佐古、青木、大谷、土居、小笠原、株本、三浦吉村、井原、戸部、住吉、西谷、中林、河野、若田、太田、上野、平良、佐藤、吉岡、山崎、滝本、沖川、南無なむ堂、竹内、樋田、長越、中川、近藤、知野、和田、松浦、矢野、岩見、福島、市原、前野、桑原、北野、尾方、山本、楠、前田、萩原、勝浦、橋本、金本、柿原、谷口、大西、福井、田中、富永、川上、佐野、名田、木屋村、久次米、鎌田、島、山岡、秋田、岡田、JVC、大松、川口、西部、篠原、長崎、宮内、福田、安田、野上、東、増岡、木邑、岩野、榊、仲野、斉藤、芦田、(株)総合ビル、鳥井、大島、佐々木、メンテス、中林、谷脇、杉原、藤井、

武田、西山、富峯、(株)クラッシー、長尾、加藤、岡本、牧野、谷川、長浜、香川、岸、岩瀬、塩田、大原、ストップDVサポートの会、東條、脇、四宮、大塩、山田、厚美、蔵本、鈴木、川上、西口、高木、住友、杉本、工内、矢木、斉藤、竹本、四宮、高田、松永、奥村、槇尾、中園、戸田、増田、夏木、原田、福本、堤、松本、鴻野、辻、大栗、福富、平良、林、松浦、野崎、樋田、森井、鶴熊、菊地、近藤、岩佐、藤坂、野田、富永、森、和田、久米川、浮津、佐藤、柏原、市原、宇野、中村、社、宮田、高津、北川、阿部、大塚、木村、大久保、和泉、檜葉、上野、宇本、長尾、原、森下、金沢、河田、伊原、新居自転車商会、長田、石本、中西、近久、伊藤、高橋、藤岡、長谷部、山内、片岡、朝景、窪川、西川、和田、谷川、井口、赤石、柏野、森住、久米川、広保、滝本、岸、篠原、力安、柴田、川内町北小学校PTA、井川、大西、藤本、以西、田村、大北、上川、斎田、地福、谷脇、岩野、横尾、フィアラウージョ、三浦、豊田、沢田、沖津、松浦、井上、大西、工内、横関、板東、伊藤、野田、堤、稲井、中山、森崎、香川、宮田、四宮、祖上、山本、大島、金本、藤垣、水口、武市、福澤、村本、濱、森田、田中、岩崎、橋本、田所、杉本、秋野、蔵本、近藤、夏木、清家○北島町○大川、井上、岸本、小関、北島、岩木、橋田、中央自動車○石井町○田村、藤田、多田、滝川、深尾、渡辺、兼子、高橋、永岡、秋山、中川、明石、佐々木、田中、秋田、木村、中木、清重、久米、谷崎、小島、藤重、豊田、西村、森下○板野町○扶川、吉野、北原、三木、森本、沖津○藍住町○高瀬、山橋、板東、楠本、市原、吉本、尾形、三好、鈴木、上崎、多田、藤原、高島、山本、中川、松下、瀬川、鹿児島、中村、南本、河野、北岡、末次、西野、虹の里、南本、徳元、高瀬、西野、黒川、中尾、四宮、出口○美馬市○北岡、高木、山西○上板町○藤井、田村、村上○吉野川市○加本、古山、福田、川真田、中川、青木、竹内、坂野、松岡、阿部、長谷、浅野、柴、金子、松田、後藤田、滝口、田中、川野、竹内、藤田、多田、井上、鎌田○鳴門市○玉垣、岡山、三間、青山、島、寺田、土佐、林、村賀、中山、乾、原田、仲須、根来、谷口、寺本、多賀、野村、土井、寺田○松茂町○佐藤、中西○阿南市○松田、長島、森、笠井、浜口、中本、保田、玉田○小松島市○宮田、濱田、吉島、矢田、藤岡、谷○阿波市○市川、堀尾、井内、武岡、割石、藤原、月岡、柏木○東京都○内藤○香川県○中村、漆原、三谷○広島県○ほっとはうすのばら

新館がオープンして半年が過ぎました。ここまで来ることができたのも、当会の活動にご協力下さった皆様のおかげです。なお入念なチェックを行ってはおりますが、万一、お名前の記入漏れ、誤字・脱字等ございましたら、事務局までお申し付け頂ければ幸いです。



昼食のみそ汁作り

編集後記～当たり前に生きる～

「もっこす元気な愛」(監督 寺田靖範 ナレーター 辛淑玉)という映画が、11月19日(日)午後2時より、徳島市内の徳島県障害者交流プラザで上映されます。

「もっこす」とは熊本の言葉で「頑固者、意地っ張り」、頑固で反骨精神の旺盛な熊本人気質を言い表した言葉です。

この映画は、倉田哲也さんという、脳性マヒのために両腕にハンディを持つ39才の男性と彼を取り巻く人たちとの関わりを描くドキュメンタリーです。足で操作しての運転免許取得への挑戦、3DKの一軒家「共生ホーム・元気」における友人との共同生活、6才年下の女性との出会い、そして結婚への決意と、ドラマが繰り返されます。

倉田さんは熊本県の「くまもと障害者労働センター」の代表として16年間活動してきました。同センターは昭和60年に小規模作業所として始まり、平成15年に小規模通所授産施設となって現在に至っています。

スポーツライターの乙武洋匡さん、画家の山下清さん、作曲家の大江光さんのように特別な才能を発揮する生き方もありますが、このような生き方ができる人はほんの一握りに過ぎません。むしろ、「街で暮らし、働く」という当たり前のことすら難しい、世間の現実があります。

当たり前のことを当たり前にするために歩んできた倉田さんの姿は、ハンディを持った「普通の」人の生き方について示唆するところがあるように思います。

特別な才能がなくてもいい、障害を乗り越えなくてもいい、障害者だから人一倍努力しなければいけないということではない。

ハンディのある人にとって生きやすい街は、ハンディのない人にとっても生きやすい。

何らかのハンディがあったとしても、肩ひじ張らずに普通に生きていけることが、本当の意味での豊かさなのではないかと思います。

映画のチケットは前売り券大人1000円(当日1200円)、小・中・高生500円で、当会事務局でも販売しています。

(文責：小山)

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の障害者地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延107-1
TEL・FAX 088-643-1054(事務局)
TEL・FAX 088-642-1054

(不用品リユース・障害者地域共同作業所)

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費：正会員10,000円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。